

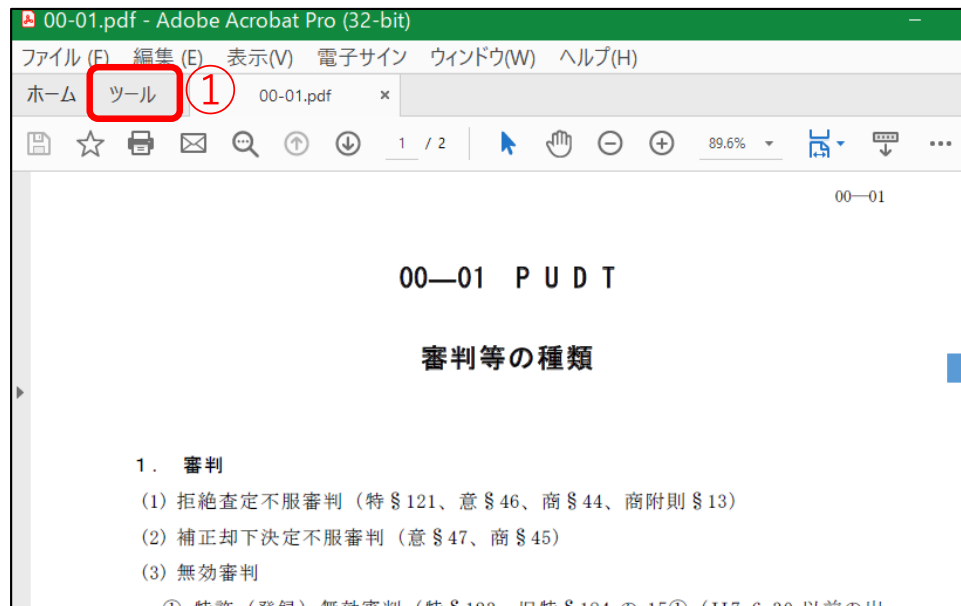
# 営業秘密の箇所に墨塗処理をしたPDFファイルの作成方法

- ✓ 営業秘密の箇所に墨塗処理をしたPDFファイルの作成方法には、例えば、以下の方法があります。
  - ✓ Adobe Acrobat Proを用いた方法(P.2～4参照)
  - ✓ スキャナを用いた方法(P.5参照)
- ✓ なお、次の方法では**作成しないでください**。
  - ✓ 文字色と同色のハイライト、蛍光ペン、マーカ等のアプリの機能を使用した方法であって、表示上塗りつぶしたとしても、文字情報が削除されず、データ上、文字のコピーが可能な方法

※その他のアプリを利用した墨塗処理方法については、各アプリのマニュアルを参照してください。

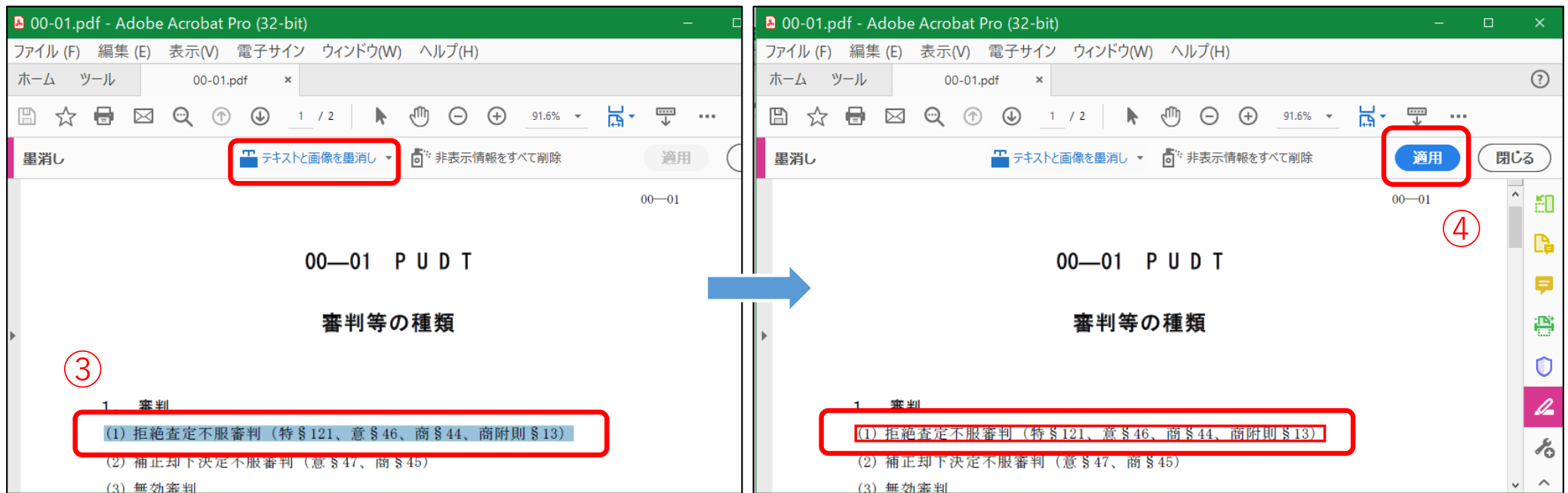
# Adobe Acrobat Proを用いた方法 (1/3)

- ① PDFファイルを開き、「ツール」タブを選択します。
- ② 保護と標準化セクションの中から「墨消し」を選択します。



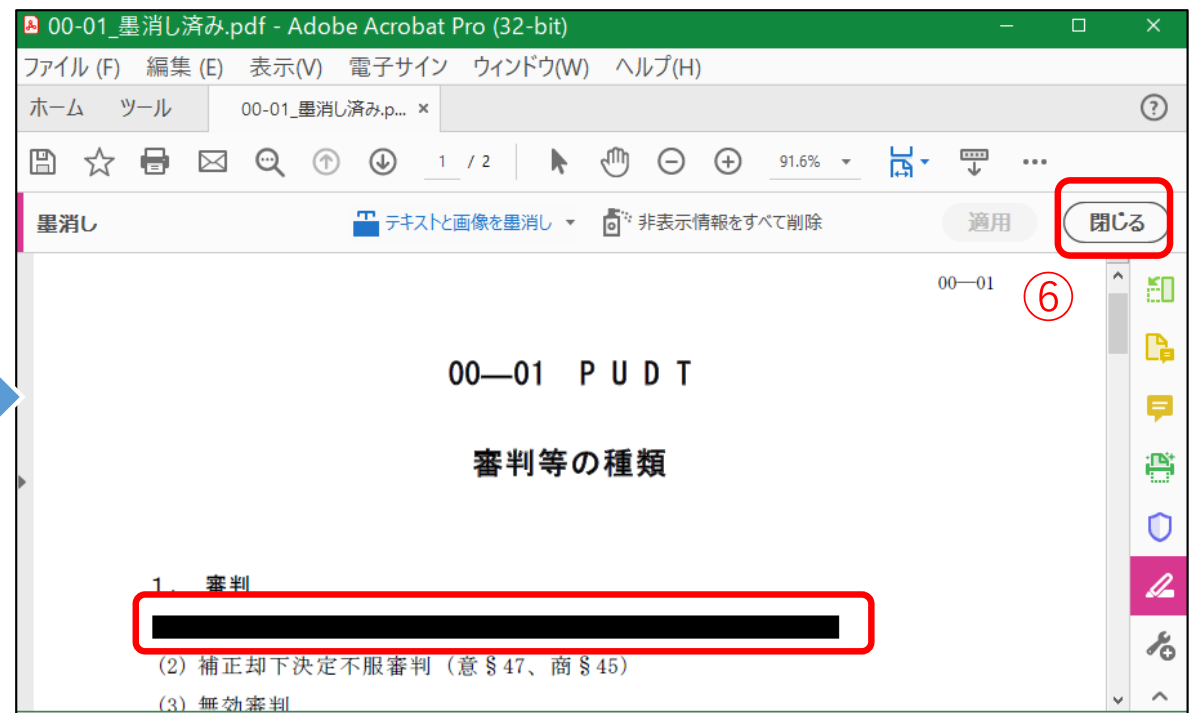
## Adobe Acrobat Proを用いた方法 (2/3)

- ③ 「テキストと画像を墨消し」が選択されていることを確認し、墨塗の箇所（テキスト、図）をドラッグして選択します。
- ④ 選択箇所が赤枠で囲まれます。「適用」をクリックします。



# Adobe Acrobat Proを用いた方法 (3/3)

- ⑤ 「非表示情報を完全に削除」が有効になっていることを確認し、「続行」をクリックします。
- ⑥ 墨塗処理が実行されます。終了する場合「閉じる」をクリックします。



## スキャナを用いた方法

- ✓ 営業秘密の箇所が塗りつぶされた証拠の写し等の印刷物を用意し、当該印刷物をスキャナでPDF化します。

### 上記印刷物の作成方法の例

- ✓ ハイライト等のアプリの機能を使用して、営業秘密の箇所を表示上塗りつぶしたものを、印刷します。
- ✓ 証拠の写し等を印刷し、当該印刷物の営業秘密の箇所をマジックペン等で塗りつぶします。

**※PDF化したものについて、墨塗箇所の拡大、画面の色調・明るさの変更等をして、営業秘密の箇所を読み取ることができなくなっているか、OCR(光学式文字認識)機能等により墨塗箇所の文字等が読み込まれていないかを、必ず確認してください。**